

中劇場「文化芸術の振興」対象の選定ポイント

- 「文化芸術の振興」の文化芸術は以下に掲げる実演芸術とし、文化芸術の創造、実践及び鑑賞を目的として、広く一般にひらかれたものを対象とします。

ア. 演劇、舞踊、ミュージカル、オペラ、音楽等の芸術 イ. 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊等の伝統芸能 ウ. 講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等の芸能
--

- 中劇場の「文化芸術の振興」を目的とした使用につきましては、以下のポイントを元に評価をおこないます。

	評価ポイント	評価内容
①	先進性	<ul style="list-style-type: none"> ・実演芸術としての新しい試みであること ・これまでの活動を進化させる事業であること ・団体としての新たな成長性が期待できること
②	文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の本質として進化が期待できること ・文化芸術の新たな広がりが期待できること ・文化芸術の普及・啓発に寄与する試みであること
③	継続性・連続性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を成長させる継続性があること ・次の公演や事業に繋がる連続性が期待できること ・より多くの公演数が期待できる事業であること
④	派生・波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術分野を広げる拡張性が期待できること ・新しい活動や表現に影響を及ぼす派生効果が期待できること ・他の活動や事業に波及する効果が期待できること
⑤	社会包摂効果	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、収入、国籍、障がいの有無など、社会的な課題の解決への効果が期待できること
⑥	劇場使命の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅せる」効果が期待できること ・「集う」効果が期待できること ・「つくる」効果が期待できること
⑦	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、秀でた提案や効果等が期待できる事業、公演等であれば加点をする